

陳 情 文 書 表

(建設局)

受 理 番 号	6 8	受 理 年 月 日	令和 2 年 7 月 1 日
件 名	大宮交通公園の改善等		
要 旨	<p>大宮交通公園は、広大なオープンスペースを持つ緑豊かな、ゴーカートが走る全国でも珍しい公園として、子供からお年寄りまで市民に愛され続けてきた公園である。また、広域避難場所にもなっており、近隣住民にとって掛け替えのない公園である。しかし、京都市は公園の約15パーセント(3,000平方メートル)を削減し、現在、その跡地に北消防署を建設中である。</p> <p>そして、計画では、駐車場の拡大や自転車教育、飲食店、イベント会場などと、従来の交通公園としての面積部分が一層狭くなる。</p> <p>また、駐車場への一般車両、公園への来園者、消防署の緊急車両それぞれの出入口が隣合せになることでの安全の確保が危惧される。</p> <p>さらに、消防署内に公園との一体化をうたうオープンスペースが設けられ、公園利用者や市民が自由に出入りでき、消防署員の通路にもなっている。昨今の新型コロナウイルス感染症により多くの公的機関が機能不全や停止を余儀なくされた。また、私たちが4月に求めた公開質問状に対して、消防隊や救急隊が編成できなくなる事態が発生しかねないと消防局自体も危機感を認め、その事態に備えて業務継続計画を策定すると回答した。感染リスクや緊急事態に市民の安全と迅速な対応を確保するため、役割が全く異なる公園と消防署の一体化は、公園利用者や近隣住民の健康と安全に関わる問題であると考える。</p> <p>については、以下のことを願う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ゴーカートを含め、子供たちが喜び学ぶ、京都市民が誇る交通公園を復活すること。 2 駐車場は15台以下にし、飲食店はなくして公園を広く取り、広域避難場所としての役割を確保すること。 3 従来のフェンスが取り払われることで、終日公園は出入りが自由になるが、そのことによる近隣住民の疑問や不安に、丁寧な説明とその合意を目指すこと。 		
陳 情 者			
回付委員会	まちづくり委員会		